

SSH通信

これからの行事 宮城県高等学校生徒理科研究発表会

2019.11.7 (木)

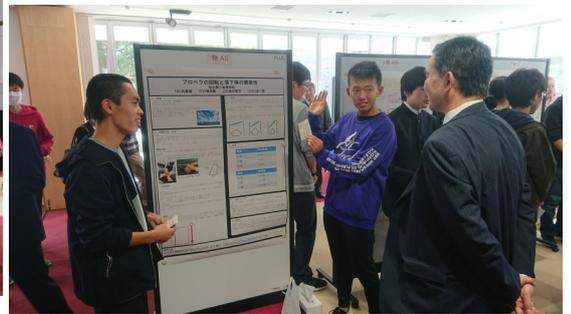
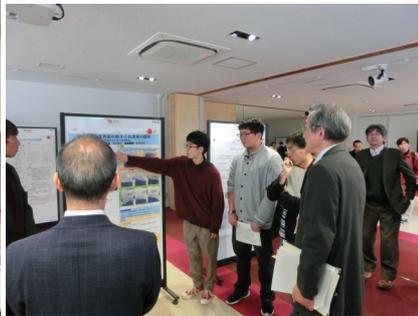
- 1/24(土)～25(日)
東北地区サイエンスコ
コミュニティ 有志生徒
- 2/4(火)
古川黎明高校「黎明サイ
エンスフェスティバル」 有志生徒
- 3/28(土)
日本水産学会 有志生徒

● 貴重な経験

私たちの課題研究の班は、生徒理科研究発表会に参加し他校の皆さん、大学の先生方などの審査員の方々に向けてポスター発表をしました。本校以外の方に発表をしたのが初めてで緊張しましたが、質疑応答の時間では、様々な質問が寄せられました。この中で、自分たちのポスターの様々な改善点を知ることができ、たいへんためになる時間になりました。また、発表では、先生方からのアドバイスもあり、とても貴重な経験になったと思います。また、他校の皆さんの発表も聴くこともできました。多くが部活動単位での参加でレベルが高く、興味をひくものが多くとても参考になりました。

結果としては物理分野での最優秀賞をいただきました。自分としては賞をいただけるとは思っていませんでしたので驚いていますが、このことを自信として今後の研究を進めていきたいと思っています。

(2年理数科 阿部 直登)



●GSフェスタに参加して

11月9日に本校で開催されたGSフェスタにて、ホウ酸に関する研究発表を開会行事の後の口頭発表でさせていただきました。三高の自然科学部の一員として研究を行っているものの、同じ学校の生徒に対して発表を行うことは少ないので、少し緊張しました。また、探究や課題研究のポスター発表でも、限られた時間で完成度の高いものに仕上げられている作品が多く、質問も飛び交い、有意義な時間を過ごした生徒が多かったのではないのでしょうか。この経験が、今後のそれぞれの活動に対する熱意につながれば良いと思います。

(2年普通科 臼淵 泰生)

GSフェスタ 2019.11.9 (土) 学校行事・全学年生徒

●サイエンスカフェ

今回は東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻の高橋信教授に「人は誰でも間違える一人と機械の望ましい協調とは」という演題でご講演をいただきました。機械の使いやすさ・安全性・自動化、AIにおける人と機械の関係についての内容で興味深い話でした。AI技術はまだ未熟なところがあると知り、人間の力は絶対に必要なのだと感じました。また、技術に対する過信は危険だということも改めて感じました。今回のご講演を通して工学に対するイメージが機械だけというところから、機械と人間の関わりというように変化しました。

(2年普通科 熊谷 果穂)



Information

SSH課外活動は、理数科・普通科の別や学年を問わず本校生徒なら誰でも参加できるものがほとんどです。ぜひ、積極的に参加してください。

宮城県仙台第三高等学校

仙台市宮城野区鶴ヶ谷1-19
TEL 022(251)1246
FAX 022(251)1247
E-mail sensan@od.myswan.ed.jp



GSフェスタ 2019.11.9 (土) 学校行事・全学年生徒

●GSフェスタを終えて

11月9日に本校でGSフェスタが開催された。私は去年公認欠席だったためGSフェスタは今回が初めてであった。そして、自分たちの研究を他の学校の方に発表できるためこのイベントをとても楽しみにしていた。ポスター発表は英語で行ったため発表、理解、質問に対する応答など全てが日本語の時より困難で、練習をして臨んだもののうまく発表ができなかったと感じた。幸いにも聴いてくれた方々には研究内容が伝わったが、もうすぐ行く台湾への修学旅行では、現地の方々に英語で発表することになっているので、今日よりもうまくできるようにさらに練習しようと思う。

(2年理数科 小林 聖弥)



●GSフェスタを通して

今回のGSフェスタにおいて、私の所属する班は通常のポスター発表に加え、英語によるポスターセッションにも参加しました。普段の英語の授業では積極的に英語を用いて活動に取り組んでいたのですが、ある程度の言葉は大体聞き取れるだろうと思っていたのですが、当日の質疑応答の際、とある留学生の方の質問を全くといっていいほど理解できませんでした。私たちが質問の内容を理解できていないことを留学生の方が分かり、もう一度言い直して下さいました。実は、どうしてこれほどまで理解できないのか、と内心悔しさをいっぱいでした。しかし同時に、今の自分が目指し到達すべき目標は何なのかを明確にすることができました。今の自分が何をすべきかを知ることができた今回の経験は、私にとって本当に貴重なものになったと思います。

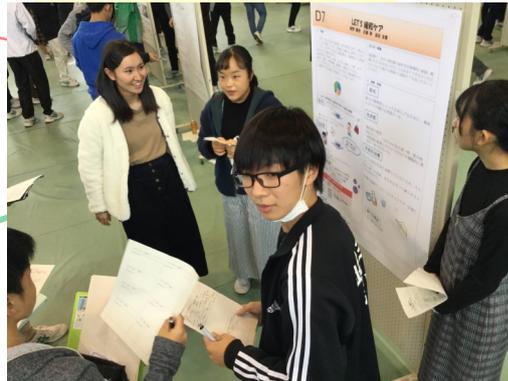
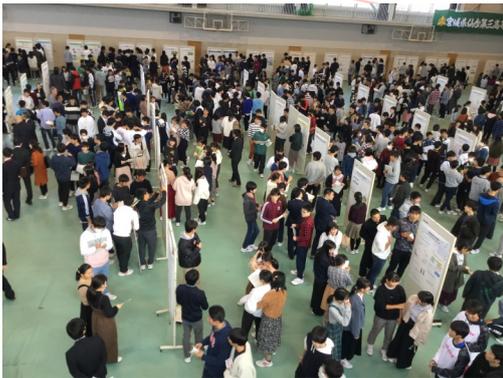
(2年普通科 菊池 杏奈)



●GSフェスタを終えて

私は、サイエンスカフェに参加し、また、ポスター発表も体験しました。サイエンスカフェでは、東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻の高橋信教授にお越し頂き、安全のために機械等に施されているデザイン工夫やAI技術について教えて下さいました。時折身近な例を交えての説明で、分かりやすくとても興味深い講義でした。ポスター発表では、本校のみならず他校の高校生、小学生や中学生までもが研究の成果を発表し合いました。どの班も質問が飛び交い、とても活発な議論がなされていました。

(2年普通科 野村 倅生)



●GSフェスタを終えて

私たち2学年はGSフェスタでポスター発表をしました。よりよい発表をするため、探究の授業にとどまらず休み時間や放課後も利用し、一生懸命準備を進めてきました。中でもポスター作成は、自分たちの研究を論理的かつ見やすい形で表現しようと推敲して仕上げました。当日は想像を超える人の多さに圧倒されつつも、なんとか最後までやりきることができました。また、他の班の発表から良い刺激を得ることもできました。発表を終えて、客観的な評価や鋭い質問から直すべき点を見つけることができたので、来年度の探究の日に向けて内容をもっと深めていけたらいいなと思います。

(2年普通科 濱松 久子)



●GSフェスタ

グローバルサイエンスフェスタ、略してGSフェスタは三高探究の日とも呼ばれており、年に一度複数の学校からの生徒が三高に集まり、それぞれグループ毎の研究を発表するという一大イベントである。今年のGSフェスタでは、口頭発表6題、英語発表も含みポスター発表155題となっており、ポスター発表見学者数は合計625名にもなった。本校の生徒による発表も多いのだが、外部の小学校、中学校、高校からも大勢の研究グループが参加しポスター発表を行う。そのため全体として発表が多様性に富んでいて、自分自身の見聞を広げ、モチベーションを高められる素晴らしい機会となっている。参加者各々が自分の興味のある分野、タイトルのポスターの前に行き、発表を聴いて意見を交わす。そして自分自身も自分の研究をポスター発表し意見を交わす。非常に有意義な時間になっているのが、GSフェスタである。

(2年理数科 松澤 秀馬)

●GSフェスタを終えて

11月9日、本校にてGSフェスタが開催されました。GSフェスタは、仙台三高という枠を超え、他の学校の高校生や小学生や中学生も集まり研究した成果を発表するイベントです。大学の先生を始めとして様々な方々をお招きしているため、通常の発表とは異なる重みのある雰囲気の中で質の高い議論がなされました。科学分野の発表だけでなく、言葉についての研究などユニークな発表も多く、幅広い分野で学びを深めることができました。今後は、今回の経験を踏まえ、物事を多角的に捉えて考えられるようにし、様々な活動に探究心を持って取り組みたいと考えています。

(1年理数科 泉 誠哉)